



クルーズ船受入環境の改善(和歌山下津港、新宮港)

“世界遺産地域 紀伊半島”の海の玄関口！

現在 now



将来 future

インフラ

新宮港

整備中の防波堤

紀南地域の物流と観光の拠点

波を穏やかにする**防波堤を整備**

大型クルーズ船の入港が実現

防波堤の効果で、4年ぶりに「飛鳥Ⅱ」が寄港。平成28年からフランスのクルーズ船も寄港し、インバウンド効果を実感。

新宮市観光協会

クルーズ船で新宮港に降り立つ外国人旅行者

平成29年度完成予定
(※整備中の防波堤)

和歌山下津港

地域経済を支える物流・産業の拠点

既存の**貨物専用岸壁を有効活用**
背後の**民間施設をリニューアル**

クルーズ船の受入拠点化

岸壁背後にある老朽化した中央市場をリニューアルし、観光市場として集客をはかり、クルーズ寄港を通じた賑わいづくりを目指します。

和歌山市

クルーズ船受入拠点化のイメージ

平成32年度完成予定
(※クルーズ船受入拠点化の整備)

地域

新宮港

年度	寄港回数
H26	6
H27	8
H31(計画)	10

H29年度防波堤整備完成予定

出典：新宮市まち・ひと・しごと創生総合戦略

海の玄関口を機能強化し、クルーズ寄港回数の増加を促進

和歌山下津港

年度	外国人観光客の推移
H26	60,080人
H27(推定値)	104,913人
H31(目標)	22万人

出典：和歌山市まち・ひと・しごと創生総合戦略

クルーズ船誘致を進め、外国人観光客の誘致を促進

和歌山県の観光入込客総数が、史上最高の約3,335万人を記録(H27)

クルーズ船の更なる寄港をめざし、貨物専用岸壁を有効活用した受入環境整備など**インバウンド誘致を促進**

高規格道路の整備も進捗しており、

クルーズ船寄港地**背後の観光圏域拡大による相乗効果※**に期待

※クルーズ船(500人乗り)1寄港あたり域内消費額が約1,000万円増加。

MAP

